

2020 年 7 月 6 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【機械・造船業界】他社牽制力ランキング 2019

トップ 3 は三菱重工、ダイキン、豊田自動織機

株式会社パテント・リザルトはこのほど、独自に分類した機械・造船業界の企業を対象に、2019 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「機械・造船業界 他社牽制力ランキング 2019」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2019 年に最も引用された企業は、**三菱重工業**、次いで**ダイキン**、**豊田自動織機**となりました。

【機械・造船業界 他社牽制力ランキング 2019 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	三菱重工業	1,955
2位	ダイキン工業	1,293
3位	豊田自動織機	854
4位	IHI	752
5位	クボタ	734
6位	村田機械	573
7位	日立建機	513
8位	川崎重工業	498
9位	コマツ	492
10位	ヤンマー	444

1 位 **三菱重工業**の最も引用された特許は「スクロール圧縮機」に関する技術で、三菱重工サーマルシステムズの計 3 件の審査過程で引用されています。このほかには「電池充電率演算装置、電池充電率演算方法、及びプログラム」に関する特許などが引用された件数の多い特許として挙げられます。

2019 年に三菱重工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は、三菱日立パワーシステムズ (77 件)、次いで三菱電機 (51 件)、東芝 (47 件) となっています。

2位 **ダイキン工業**の最も引用された特許は「物流サイクルにおける配送装置の管理システム」に関する技術で、パナソニック IP マネジメントの計 7 件の審査過程において引用されています。このほかには「空気清浄機」に関する技術や「被覆用組成物」に関する技術などが、引用された件数の多い特許として挙げられます。

2019年にダイキン工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機(161 件)、次いでパナソニック(79 件)、日立ジョンソンコントロールズ空調(60 件)となっています。

3位 **豊田自動織機**の最も引用された特許は、東京大学と共同出願した「蓄電装置用水系電解液、及び当該水系電解液を含む蓄電装置」に関する技術で、東芝の「二次電池、電池パック及び車両」関連特許など計 4 件の審査過程において引用されています。

2019年に豊田自動織機の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車(55 件)で、GS ユアサ(27 件)、デンソー(24 件)と続いています。

そのほか、4位の **IHI** は「ノズル羽根と平行壁との間の隙間流れを防止し、タービン効率の低下を抑制する技術」、5位の **クボタ** は「圃場での農作業の作業性向上させる作業車」が、最も引用された特許として挙げられます。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2019年12月までに公開されたすべての特許のうち、2019年1月から12月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2020年5月29日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

業種は総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

また弊社では、本ランキングの詳細データを下記の通り販売しています。

【機械・造船業界 他社牽制力ランキング 2019 ご提供データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

1) ランキングトップ 50 社

機械・造船業界の被引用件数上位 50 社のランキング

2) 被引用件数上位 100 件のリスト

機械・造船業界の被引用件数上位 100 件

及び引用先の特許との対応を掲載

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580

Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL <https://www.patentresult.co.jp/>